

《 お祈りとご支援のお願い 》

御名を賛美します

いつもチーフキリスト教学園のために祈りと多大なご支援とに心より感謝申し上げます。「チーフの森」には、今年沢山の山がどうが実りました。キッチンスタッフがそれを加工し、おいしい手作りジャムにしてくれました。自然の恵みに感謝です。また、例年になくクルミが豊作で、毎日のように駐車場一面に落ちておりました。

過日今年の初雪にしては大雪に見舞われ、あたふたとしながらもなまなく訪れるであろう冬将軍への備えをしている毎日です。現在生徒は、高校2年生と中学1年生(7月入学・女子)の2名です。それぞれ心身に重荷をもっておりますが、遅れても毎日のように登校しております。高校生は9月に中間考査が終了しました。大変よく頑張った成績結果となりましたので、本人も納得している様子です。まもなく1月には終末試験を控えており静かな中にも前向きな意欲がみられます。中学生は、少しずつチーフスクールに慣れて参りました。物静かですが学習時間は黙々と取り組んでおります。帰りの会には「主の祈り」をしてくれるようになりました。10月には、遅刻しながらも無欠席の記録を作ることができました。両名の為にお祈りください。

キッズの方は現在7名、毎週火曜日は元気な泣き声や叫び声で一変します。大変な賑やかさでキッズ教室が終わっても、「ちびっ子軍団」は帰ろうとせずそれぞれの気に入ったおもちやで延長戦を楽しんでおります。つい先日までお母さんにまわりついて離れようとしていた幼児たちが、一人で階段を上り2階を探索しようとする成長の姿に驚かれます。

厳冬期を迎え灯油代等かさむ時期に入って参りました。恒例のように大変恐縮ですが、チーフスクールを覚えて頂き引き続きの祈りとご支援をお願い申し上げます。

校長

「主は羊飼いのように、その群れを飼ひ、御腕に子羊を引き寄せ、ふところに抱き、乳を飲ませる羊を優しく導く。」(イザヤ 40:11)

宗教法人 チーフ・キリスト伝道会 チーフキリスト教学園

チーフ・インターナショナル・クリスチャン・スクール

〒041-1111

北海道亀田郡七飯町本町6丁目7-31

チーフキリスト教学園

TEL & FAX : (0138)64-4177

E-mail : chefoo77@ms5.ncv.ne.jp

ホームページ : <http://www5.ncv.ne.jp/~chefoo77/>

郵便振替 : 02780-4-78509「チーフキリスト教学園」

※学校見学はいつでも大歓迎です。宿泊ご希望の方は、事前にご連絡下さい。

Chefoo だより No.28
2013/12/17

【教育目標】

聖書に基づく人格教育 次代を担い得る人材の育成 国際化時代に即応する能力を育む

北国の自然と断想

「…万物は御子によって造られ、御子のために造られたのです」(コロサイ1:16「創造と和解」)

クリスマスおめでとうございます。
「先生には、僻地校の3級か5級のどちらかに赴任してもらうこととなりますが、どちらがよろしいですか?」。「どちらでも結構です!」。(教育委員会にて)

約40年前、折り、ようやく与えられた教員への道、希望に燃えて山間部の高度僻地校に赴任した。天塩山地の山麓にあり、冬に冬に零下20度積雪2メートルにもなる。民家は生徒たちの家3軒のみ。まさに「酷寒の僻地」という名に相応しい土地柄だった。全校生徒数6名の小中併置校。

大雪の朝、中学3年生になる長男「孝司(たかし)」が先頭に立ち、長靴を左右に動かして「ラッセル」(雪をかき分け、後に続く者の道を作る)し、弟たちや下級生がその後からしがみつくようにして登校してくる。その情景は今でも脳裏に焼き付く教師としての原風景だ。退職した今も新天地での体験は強烈な想い出だ。山奥の雪深い、すべてが凍りつく土地だったが、子供たちの生活と心の温もりは今も忘れ難い。自然が厳しいほど人は優しい。雪が深々と降る夕刻どきの家庭訪問、保護者が止めた熊肉のご馳走が今は懐かしい。

酷寒の冬、北国の自然はすべての活動

を休止し深い眠りに入る。やがて春になると一斉に命の季節が到来する。

「時間の経験のしかたと自然をどう体験するかということは実は同じことの両面にすぎないのです。」(大貫隆氏)。人と自然は一体なのだろうか。

さて、パウロはこの雄大な自然(被造物)もわたしたちと共にうめき苦しんでいるという。

「私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。」(ロマ8:22)

どうして?…ともにうめきともに産みの苦しみをしているのだろうか。

パウロはその理由を前節に述べています。

「それは、被造物が虚無に服したのが自分の意思ではなく、服従させた方によるのであって、望みがあるからです。被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもの栄光の自由の中に入れられます。」(ロマ8:20-21)

救い主キリストの十字架は人の罪の絶望を希望に変えてくれます。十字架のゆえに、罪の人は救われ神の子となります。自然の嘆きは人の罪ゆえの嘆きです(創3:17「アダムへの宣告」)。罪があがうキリストの十字架によって、絶望の苦しみから希望のうめきへと変えてくれます。(参照 藤井武著作集第3巻「自然研究」)

クリスマスは、冬の澄んだ星空を眺めながら、そんな創造主の誕生を静かに思い巡らすのも有りかと思えます。

校長 庄司 信雄

一日、一日に感謝しつつ

品田 君江

「私たちは、あなたに感謝します。神よ。私たちは感謝します。」(詩篇75篇1節)

11月の半ばに雪が降り始め3日目の朝に漸く晴れ上がりました。窓から外を見ると眼下に高齢者ホームの屋根に積もった雪がキラキラと輝き、右手にはカナダ種の楓の巨木が真っ赤に葉を染め、左手には常緑樹の榎松が聳える様に立っています。さらに屋根越しに遠くを眺めると、2年後に開通を待つ新幹線の橋脚が、1本の細長いロープが敷かれたように見えます。創造主においてになる神様が、大きなキャンパスに描いた美しい絵を見るような風景です。

夏には屋外のバスケットボールのコートの上に日陰用のテントが張られ、そのそばにプラスチック製のプールが置かれます。また芝生の敷地には滑り台と砂場があって、10月の半ばにはブランコも新設されました。そこで遊ぶ子供たちの声と笑顔は、初雪と共に屋内の教室に変わりました。ところが最近になって若いお母様方のストレッチやダンスも加わり、1、2、1、2の掛け声や種々の音楽が流されるようになりました。老いた私たちにとはとてもできませんが、どのお顔も笑顔と汗で輝いています。それと共に、低料金のこともあるからでしょう。チーフーカフェで昼食や喫茶を楽しむ人々も出てきて、先生方や職員の方々は、一層忙しくなってきたようです。

人気(ひとけ)のないチーフー学園は、日中でも寂しさや、時には不気味さを感じさせられるほどですが、高齢の私たちには、幼い子供たちや若いお母様方のお声や笑顔は何よりもホットさせられ、また幸せも感じさせられます。それに84歳になって、今は炊事、洗濯お掃除とも何も出来なくなった私ですが、イエス様が与えて下さった素晴らしい夫に感謝せずにはおられません。足腰の衰えから幾らか痴呆にも冒されていると思いますが、礼拝と祈禱会に欠かさず出席が許され、さらに通院や食料品の買い出しなど、夫の運転する車で一緒に出掛けることが出来、幸せを噛み締めております。イエス様、本当に有り難うございます。幾度言っても言い過ぎることはないと思います。しかしそれと共に、いつも背後にあってお祈り下さることに合わせ、私たちにに対する皆様方の暖かなご配慮にも、心から感謝し、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

(代表役員・品田と志夫師夫人)

チーフー・キッズの日々

園長 庄司 洋子

チーフー・キッズは、5年目を迎え、現在は「少人数親子教室」として週一回(火曜日)活動をしています。現在1歳半から3歳までの8組の親子が通っています。

10時に集合し、出席カード(親子で作った手作りのもの)にシールをはり、朝の会、絵本、手遊びなどをして心を落ち着けてから礼拝をします。礼拝は賛美とお祈りと短い聖書のお話です。賛美は体を動かしながらも楽しそうに歌います。お話しは、わかりやすく神様の愛を伝えたいと心がけていますが、子供たちは最初は集中できなくても次第にお母さんの膝の上で一緒に聞けるようになり、暗唱聖句も言えるようになります。

その後は天気が良ければ、外遊びか散歩、特に今年度はブランコが設置されたので、楽しみが増えました。月一回はおやつ作り、母の会があり、室内で遊ぶときはカードゲームをします。子どもたちは好きなように自由に遊びます。お母さんは「後でね」とか「ちょっと待ってね」とか「あっちに行つてね」とか言わずに、いつもそばにいてくれる安心感の中で、呼べばすぐ来てくれることがわかってのびのび遊べるようになります。お母さんたちも忙しい家事から離れて、親子でゆっくり時間を過ごすとても良い充実した時間になっているように思われます。実はそのことが幼児期の子どもにとっても満ち足りた幸せな時間となり、お母さん方にとっても大切なひとときになります。もちろん時にはおもちゃの取り合いになって、泣いたり、走ってころんだりとかいろいろありますが、それもいい経験と考えます。そうして、いつの間にかチーフーが大好きになり、お母さんもお母さん同士の交流を楽しみます。

先生方は子ども一人一人が神様に創られ、愛されている大切な存在として関わり、接したいと願っていますが、日々成長していくのを見ることでとても感謝です。

豊かな自然と神様のお守りに感謝して、これから多くの子どもたちと楽しく遊びたいと思います。

